

令和6年度 第10回江北町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和7年3月27日（木）16：00～16：30
- 2 場 所 公民館2階講座室
- 3 出席者 下表のとおり

【構成員】

番号	役 職	氏 名
1	町長	山田 恭輔
2	教育長	吉田 功
3	教育長職務代理者	浪瀬 隆一
4	教育委員	重松 亜須香
5	教育委員	溝口 泰弘
6	教育委員	田中 薫

【こども教育課・学校づくり推進室】

番号	役 職	氏 名
1	課長（兼室長）	本村 健一郎
2	課長代理	峯 清美
3	係長	野田 あゆみ
4	主任指導主事	小宮 広明
5	専門員	牟田 久俊

【事務局：総務政策課】

番号	役 職	氏 名
1	副町長	山下 宗人
2	課長	山中 博代
3	課長代理	小野 政己

4 議題

教育課題解決に向けた令和7年度の実行計画について

○開会（山中課長）

○挨拶（山田町長）

これまでの総合教育会議の感想やご意見があればお願いします。

【田中委員】

- ・課題に向けた実行計画を少しずつでも進めていっているのは嬉しく思う。
- ・施設老朽化対策については、大きくは変えられないだろうと思うが、子どもたちに直接関係のある照明や水道など、できるところからしていきたい。
- ・照明器具はLEDしていかないといけない。天気のいい日は問題ないが、天気の悪い日は薄暗い。町外から来られた方は「江北小学校、薄暗い」とよく言われる。

【重松委員】

- ・進行管理をしていくべき。課題のための取り組みなら、どこまで進んでいるか・こういった課題があるかを把握する必要がある。始めた年が一番難しい。
- ・英語検定の合格を目指す。受けるだけで満足しないように。不合格だったなら、合格するためにはこういった取り組みが必要かといった学習の見直しを行いたい。

【溝口委員】

- ・課題解決も1年だけじゃなかなか成果は出ない。2年・3年と年数を重ねる毎に解決できたと思う。
- ・修繕については、B&G体育館が使えないようになっているが、ただ壁がはがれているだけ。使用できそうなら使っていった方がいい。

【山田町長】

- ・B&G体育館は、確かに壁が剥がれているだけだが、これをきっかけに廃止をした方がいいのではないかとということで、使えないのではなく、使ってもらっていない。なのでB&G体育館を今後使うか使わないかを決めていかないといけない。

【浪瀬委員】

- ・改修をする前に、事前準備を行うことが大切。大規模修繕にはそれなりの金額

がかかる。そういったことに備えるために江北町で行ってほしい。

—牟田専門員より施設老朽化の現在の進行状況について説明—

- ・4月から専門業者との契約を予定しているが、すでに小学校・中学校を見て回り、専門業者から危険箇所や修繕に関する優先順位のアドバイスをもらっている。4月の定例教育委員会あるいは総合教育会議の場で業者からの資料を基に提案を示していく。

【吉田教育長】

- ・定例教育委員会の日時を改めて協議していく。

【山下副町長】

- ・佐賀県のほうでも英語検定に関する取り組みが行われるが、子どもたちに実のある形で行おうとしているのは、江北町だと思う。
- ・部活動の地域移行は、なかなか世の中に届きづらく難しい。
- ・施設改修は、どうしても予算が伴う。なかなか思うようにならず難しい。これから先、子どもたちがどのようにしていくのかを考えて慎重にしていく必要がある。

○閉会（山中課長）